



節目を迎えて交流は加速。姉妹都市締結20周年を記念したルータ&ズビグネヴァス・イベルハウプタス・ピアノ・デュオコンサート(市国際交流協議会主催)が8月19日、アンバーホールで開かれました。

奏者の2人は、数々の国際コンクールを受賞したリトアニアを代表する音楽家。世界を舞台に活躍しています。

クライペダ市との友好が縁となって実現した、貴重な日本初公演。会場は大勢の観客で満席となりました。

コンサートでは、繊細で美しい曲から激しく躍動感にあふれる曲まで全14曲を披露。2人の指から次々と奏でられる美しい音色を、観客は時間を忘れて聴き入りました。

観客からは「美しい音楽でリトアニアの良さが感じられ

音楽で感じた姉妹都市



広げ、伝える

派遣団の活動とリトアニアの物産を紹介し、姉妹都市の姿を伝えました。

届く、届ける

リトアニアを代表する2人が友好の思いを込めた音色を。観客は賛辞を。音楽を通じて互いの思いを届け合いました。

海を越えた友好のきずな。今回の活動を通し、その結びつきはより強くなりました。交流を進め、互いに発展を目指す姉妹都市。わたしたちもクライペダ市を知ること、きずなはさらに深くなります。この先の未来もずっと。みんなの力で友好をつないでいきましょう。

みんなでつなぐ未来の友好

また会場には、派遣団の活動やクライペダ市を紹介するコーナーを設置。リトアニアの物産展も開催し、姉妹都市の姿を伝えました。

活動資料に目を留めていた馬場のりこさん(新井田)は「充実した活動とクライペダ市の今が分かる。姉妹都市があるのはうれしいこと。これからも活動を進めてほしい」と話していました。

伝えた街の姿と派遣活動

「技術も迫力もすばらしい。聴いていてドキドキした」など多くの感動の声が聞かれました。

海を越えた友好の絆  
結びつきはより強く  
みんなの力でこの先も

派遣団

友好の思いを語る

山内隆文市長を団長とし姉妹都市クライペダ市で交流を深め、友好をつないできた派遣団。副団長以下14人にもその思いを聞きま

した。※副団長以外は50音順



文化班  
亀田サチ子 さん  
(国際ソロプチミスト久慈)

クライペダの人たちの日本に対する反応の良さは想像以上でした。姉妹都市。海に向こうにわたしたちのパートナーがいることを実感しました。



文化班  
宇部徳雄 さん  
(久慈書道協会)

漢字や日本文化の広がりを実感。書の実演は大行列でした。漢字で名前を書いてとの要望も多数。人も温かく自然も豊かなすてきなまちでした。



副団長  
向正彰 さん  
(市商工会議所副会頭)

歓迎を受け感激。クライペダの人は日本の文化にも強い興味を示してくれました。団員は一致団結して活動。良い成果をあげられたと思います。



副団長  
濱欠明宏 さん  
(市議会副議長)

歴史に裏づけられた日本や久慈への好感。現地には日本を受け入れる温かさが。今後も両市の友好関係が続くことを強く感じました。



物販班  
中村有賀 主事  
(市商工観光課)

人が穏やかで日本に興味とあこがれが。歓迎を受け、国や人種の垣根がないことを実感。日本や久慈に関わった歴史の大きさを感じました。



文化班  
高山朋子 さん  
(久慈茶道会)

お茶を立てる過程までじっくりと見たり、何回も通って茶道を体験した人もいたことに感激。活動で日本文化のすばらしさを再確認しました。



文化班  
七十刈貴子 さん  
(市華道協会)

華に興味を持って体験する人が多く楽しかったです。活動を通して気持ちも通じ合えた気がします。今後きずながより深まればうれしいです。



文化班  
佐藤真佐枝 さん  
(久慈ライオンズクラブ)

皆興味津々でお茶を。最後は大きな拍手。日本を伝える良い機会になりました。また行きたいと思わせる友好的ですてきなまちでした。



物販班  
小柳正人 さん  
(久慈ロータリークラブ)

漢字など日本に対する興味・関心はすごいものがありました。日本に来たがっている人も多数。また交流の機会があればいいですね。



山内七恵 さん  
(市長夫人)

環境の良さや人の温かさが印象的。今回の活動で人は心で通じ合えることを実感しました。今後も交流し、もっと分かり合えればいいですね。



文化班  
三河久美子 さん  
(貴顕会)

日本文化を理解しようと熱心な人ばかり。踊りにも自然と気持ちが入りました。浴衣の着付け体験も皆大喜び。忘れられない経験です。



物販班  
細谷地茂陽 さん  
(久慈青年会議所)

現地の学生と交流しながら日本を紹介できました。会わなければ分からない人柄の良さも実感。交流の大切さときずなの深さを感じました。



物販班  
廣内留美 さん  
(市観光物産協会)

日本に詳しい人が多かったです。現地の学生が物販を手伝ってくれたことには本当に感謝。姉妹都市の結び付きの強さを感じました。



事務局  
夏井正悟 総括主査  
(市総務課)

訪問実現のため交渉・調整くださったクライペダ市や大使館の方々に感謝。町の個性と機能を生かした充実のイベントに感動しました。